

15. 補綴物管理票やトレーサビリティの内容や施行に関しての主な意見

- ・現行の制度では適正評価がない／歯科技工士の待遇改善が必要／責任に対しての対価不足 7件
- ・トレーサビリティそのものが認知されていない 4件
- ・事務処理の手間が増えるのが困る 2件
- ・紙媒体のトレーサビリティは資源の無駄 2件
- ・海外委託状況を詳しく知りたい 2件

その他の意見として下記の様なものがあつた。(以下各1件)

- ・補綴物関連は保険から外して欲しい
- ・海外の方が質が高く価値あり
- ・T P P参加であれば、医療制度・保険診療に対する緩和が必要
- ・安価だけの海外委託は問題
- ・患者の立場を考慮して海外委託している
- ・トレーサビリティはしっかり行われている
- ・保険外の技工物のみ海外へ委託
- ・患者の不利益にならないような法整備を望む

補綴物の製作委託（外部委託）に関わる歯科技工士教育

歯科技工士教育の指定規則により定められている2,200時間以上の内、「歯科技工学概論」(50時間)、「関係法規」(15時間)において補綴物の製作委託(外部委託)に関わる教育がなされていた。特に「関係法規」は国家試験の対象学科目である。「歯科技工

学概論」においては、歯科技工士の役割、歯科技工士の管理と運営、また「関係法規」においては、歯科技工士法、歯科技工士の業務、歯科技工所の管理などで補綴物の製作委託について教授されている。歯科技工指示書に関する歯科技工士法第18条の項では、「国外で作成された補綴物などの取り扱いについて」(厚生労働省医政局歯科保健課長通知、平成17年9月、医政歯発0908001)とともに記載されている。

D. 考察

1) 研究の目的について

複雑な疾病構造、患者のニーズさらには新技術や材料の開発によって多様化する歯科医療において、補綴治療は歯の実質欠損や喪失における形態的、機能的および審美的回復の手段として重要な位置づけにある。補綴治療の大部分は間接作業による補綴装置の製作に委ねられ、歯科技工士の介入が求められる。我が国において歯科技工は、歯科医師または歯科技工士の独占業務であり、「ある特定の患者などに対して行う歯科医療のためにされる行為であり、補綴物、充填物、矯正装置を製作・修理、あるいは加工することをいう。したがってメーカーが歯科用品の見本、教材、模型を作る行為や義歯製作の素材としての人工歯や金属冠材料などの製造行為は、歯科技工とはいわない。また、歯科医師が自分で診療している患者のために、直接行う補綴物などの製作は歯科医療行為にあたり、歯科技工ではない」。近年、安全、安心、信頼できる歯科医療が国民から求められている中で、「歯科技

工物」に対する安全性についての説明責任は十分とはいえないのが現状である。特に、IT（情報技術）等の普及に伴い、国内だけでなく、国外で製作された補綴物などを病院または診療所の歯科医師が輸入し、患者に供する事例が散見されることから、厚生労働省は平成 17 年 9 月に「国外で作成された補綴物などの取り扱いについて」、さらには平成 23 年に「歯科医療における補綴物などのトレーサビリティに関する指針」の通知を発信し、歯科技工の海外委託に関する情報提供を行う体制を整備してきた。

そこで、本研究ではトレーサビリティ指針の対象となる歯科技工の海外委託に関して、その遵守状況とトレーサビリティ指針に指定されている帳票（補綴物管理票など）の内容に関する評価について検討を行った。さらに、デジタル技工が進展する歯科技工士養成課程における教育カリキュラムの現状についても検証した。

2) 調査対象者について

平成 20 年度に、日本の歯科医師母集団の実態を反映させるために日本歯科医師会会員から無作為抽出した歯科医師を対象として実施した「歯科補綴物の多国間流通に関する調査研究（H20-医療-一般-018）」の結果では、「海外に歯科技工物を発注した経験がある」とする者の割合は 7.4%であったことから、本研究の対象者は、歯科補綴物の海外委託に関係する歯科技工所のホームページに記載されている歯科診療所の歯科医師 1,060 名とした。この数値はホームページで公開されている全数である。アンケート形式による往復郵送調査の有効回収

率は 52.3%で、信頼性の高い歯科補綴物のトレーサビリティに関する関心度は高くなかった。回答された歯科医師のプロフィールの概要は、50～59 歳が最も多く（47.5%）過半数に近く、1 人開業が 54.2%、2 人開業が 24.2%で少人数の開業医が 3/4 を占めた。また、1 日の患者数は 16～25 人が最も多く、20 人前後が 30%以上で、1 日当たりの歯科補綴物の外注委託率は 100%が 50.6%で約半数近くは診療所外への外部委託であり、その件数は、5 件以下が 56.0%を占め、10 件以下までで約 90%を占めた。

3) 歯科補綴物を発注する際のどのような方法で発注・製作しているかについて

対象者のほとんど（98.2%）は「歯科技工所へ発注し、発注先の歯科技工所で製作されている」としている。しかし、「取引先の歯科技工所から海外の歯科技工所で製作」（26.1%）、「仲介業者を介して海外の歯科技工所で製作」（7.9%）などを含めて「海外の歯科技工所で製作」と回答した歯科医師は全体の 34.6%であったことは注目すべきである。一方、「取引先の歯科技工所から別の歯科技工所へ再委託している」と回答した歯科医師は 20.1%であり、回答からは「再委託している」と認識していることは確かであるが、「再委託」の委託先が国内であるとの明確な認識があるのかどうかまで推察することはできなかつた。すなわち、国内の歯科技工所や仲介業者を介して、海外で作成された歯科補綴物を認識している 35%の対象者に、認識していない「再委託している」対象者を加味して最大 50%が「海外の歯科技工所

で製作」された歯科補綴物を診療に用いている可能性があった。現在の歯科技工所は1人開業が70%で、さらにデジタル技工が進展すれば設備投資の関係からも、小規模歯科技工所間や小規模歯科技工所と大型設備を有する大規模歯科技工所間との委託が活発に行われることも予想される。

後述するが、その詳細を知るためには具体的指示内容などを示したサンプルが今回多く集まることを期待したが、今回提出があったのは2つの技工所のもののみであり、詳細を明らかにするまでには至らなかった。また、提出された2つのサンプルについても、歯科医師からの明確な指示で、再委託先を明示し（海外も含む）いるようには考えられなかった。

4) 歯科技工指示書に歯科補綴物を製作する場所（歯科技工所の所在地）を明記の有無について

歯科技工士法第18条の規定による歯科技工指示書の記載事項として、設計、作成の方法、使用材料、発行年月日、歯科医師の住所と氏名、歯科技工所の名称が義務付けられ、違反すると30万円以下の罰金に処せられる。今回の調査では、歯科補綴物を製作する場所（歯科技工所の所在地）の記載について問うているが、83.7%が明記され、委託に関する指示の適正な運用がほぼなされており、歯科医師の年齢層、来院患者数、歯科補綴物の委託件数、外部委託件数との相関性は見られなかった。しかし、日常臨床で用いられている歯科技工指示書に、取引先の歯科技工所から別の（海外も含めて）歯科技工所への孫請けする歯科技工所名や住所の記載があったか否かは定

かではない。

5) 厚生労働省から示されている「歯科医療における歯科補綴物等のトレーサビリティに関する指針」の認知レベルについて

「詳しく知っている」+「知っている」=『知っている』との回答は24.3%と4人に1人であり、トレーサビリティに関する認識の低さが明らかになった。後述もするが、具体的ロットナンバーなどの記載例などの帳票類は今回1例のみしか提出されていないことから、どの程度トレーサビリティが実施されているか疑問が残り、認知と実施は別物と考えた方がよいように思われた。

6) 医院が歯科補綴物製作を外部に委託する際、保健所への届け出についての確認状況については

「必ず確認している」20.0%に対して、78.2%は「必ずしも確認していない」で、歯科医師の認識の甘さがうかがえる。このような当然義務付けられた届出や行政からの指針について周知徹底するためには、地域の歯科医師会などが率先して講習会を行うことが必要であり、歯科技工所間の歯科補綴物の流通も含めた歯科技工指示書のモデル的なフォーマットの作成や歯科医院に対して歯科補綴物の製作を依頼する歯科技工所名（住所を含めた）の事前届け出制度なども必要である。さらには、歯科医院では、取引先の歯科技工所名や製作担当する歯科技工士名を院内掲示し、患者が絶えず目に触れるところに設置すべきであろう。

7) 医院から海外の歯科技工所へ歯科補綴物を発注する場合、「補綴物管理票」等の帳票の使用の有無について

「海外へは発注していない」が6割を超えており、この場合現行では「補綴物管理票（仮称）」は必要ないことになる。一方、海外委託が2割強の結果なっている中で、「補綴物管理票（仮称）」の使用状況は11.8%にとどまっていることが、本調査から明らかになった。これらの調査結果から、厚生労働省から示された指針に示された「補綴物管理票（仮称）」の使用率は低いものと思われる。また、実際の帳票例の提出は1例のみであり、名称も管理表ではなくトレーサビリティとなっている。これも厚労省が示した「補綴物管理票（仮称）」のサンプルとはかけ離れたものであり、補綴物の管理表の認知度がきわめて低いことが推察された。

また、患者に対して海外への委託に関して「事前承認」を得ているのは80.3%を占め、その方法として「紙媒体」が最も多く、特に年齢層の高い歯科医師ほど「事前承認」を患者から受けている。さらに、海外委託について常に患者に説明を行っているのが28.4%で、一部の歯科医師しか歯科補綴装置の製作に関する情報を患者にも示していないのが現状である。一方、海外への委託において歯科補綴物の「製作作業工程」や「材料」に関して歯科医師の理解度はそれぞれ「理解している」は67.2%、82.1%であり、十分とは言えない。また、海外で製作された歯科補綴物に関して84.5%が保証しており、その期間は3年以上が42.8%で最も多かった。通常、医療保

険制度では補綴物管理料の算定では2年間の保証期間があるが、海外での歯科補綴物の作成の多くは自費診療であることから3年以上は妥当と考える。しかし、歯科医師の年齢層においては、若年層ほど保証期間は長く、高齢歯科医師ほど保証期間が短くなる傾向がある。

本来、トレーサビリティとは「農産物・食品・医薬品・工業製品などの商品やその原材料・部品などを個別に識別し、生産から加工・流通・販売・廃棄までの過程を明確に記録することによって、商品からさかのぼって履歴情報を確認できるようにすること。また、そのシステム」をいう。トレーサビリティには、トレースバックとトレースフォワードがあり、前者は物品の流通履歴の時系列にさかのぼって記録をたどる方向で、後者は時間経過に沿っていく方向である。すなわちトレースバックとは、対象とする物品に対して関心を示した人間（代表例は消費者）が、その物品の履歴をさかのぼって、物品の生産履歴を見ることで、一方、トレースフォワードとは、対象とする物品に問題が発見された時、その物品が販売された特定顧客に対してピンポイントで商品の回収を行うことをいう。トレーサビリティは対象となる物品を、観測しうる物理量によって定量的に記述された記録によって構築される。物理量とは時刻、重量、名称、物品に添付意された記号（バーコードなど等によって記述される。物理量の計測結果が一定でなかったり、添付された記号などが故意・過失によって紛失等することは、物流におけるトレーサビリティにおいて避けて通れない点である。

平成 23 年 6 月に発せられた「歯科医療における補綴物のトレーサビリティに関する指針」によれば、国内の歯科技工所に補綴物などの作成を委託する場合は、歯科技工士法に基づく歯科技工指示書により歯科医師が委託先や歯科材料などを指示することから、トレーサビリティは確保されていると考えられるが、現状では、歯科医師から発せられる歯科技工指示書は十分とは考えられない。一方、国外に補綴物の作成を委託する場合は、補綴物の委託過程及び作成過程ならびに歯科材料の流過程などが複雑になることからトレーサビリティの確保が困難なケースが想定されることから、より安心して安全な歯科医療を確立するために、歯科医療機関、歯科医師、委託先、患者などのすべての関係者が、補綴物などの委託過程及び作成過程、並びに含有成分などに関する必要な情報を共有できる仕組みを構築する必要があるとしている。近年、補綴物などの委託形態の多様化や歯科技工所の運営形態の変化が大きいことから歯科医師と歯科技工士との間の密接な連携が必要である。歯科医師は必要記載事項などが整理された帳票を用いることで、歯科医療機関及び委託先と連携を図り、指示した歯科材料で作成されたことの確認、作成過程など、必要な情報を一元的にかつ容易に把握し、管理できる仕組みを構築すべきである。そのためには歯科医師及び委託先の歯科技工所は、平成 23 年 6 月厚生労働省から発信された「歯科医療における補綴物等のトレーサビリティに関する指針」の中で、海外への委託用として例示された「補綴物管理票」（仮称）を用いて、国民に安全、

安心な歯科補綴物の提供をすべきである。しかしながら、「補綴物管理票」（仮称）の記載が煩雑であるなどの問題もあり、電子化したトレーサビリティのシステム開発等も今後検討する必要がある。

【補綴物管理票】に記載すべき情報

(1) 歯科医師が記載すべき情報

- ・発行年月日
- ・歯科医療機関の住所、名称など
- ・歯科医師名
- ・補綴物の名称
- ・歯科材料（製品・製造・販売業者、使用材料など）
- ・設計及び作成の方法
- ・委託先に係る情報として、住所・名称など

(2) 委託先の歯科技工所が記載する情報

- ・歯科技工作業を実施した施設に係る情報（住所、名称、作業責任者名）
- ・歯科技工作業に係る情報として受取日、作業日、作業内容、最終確認日、発送日など
- ・歯科補綴物に含まれる歯科材料に係る情報として、組成、認証番号、ロット番号、製造番号など

(3) 補綴物納品時に歯科医師が記載する情報

- ・納品された日
- ・納品を受けた歯科医師名

今回のアンケート調査によれば、「歯科技工指示書」と「補綴物管理票」との区別が十分ではなく、「補綴物維持管理票」や「補綴物管理届」などと混同している回答が多かった。補綴物などに係るトレーサビリティの構築

にあたっては、患者のニーズを十分に踏まえたもの、さらに補綴物などの委託に関する情報を院内の受付などに掲示する必要がある。今回の調査では、歯科医師の年齢層の一部に特化した回答は少ないが、歯科医師の若年層や高齢層において「トレーサビリティに関する認識」の低さが認められた。今後は、補綴物作成の委託においては国内外の委託先に関わらず、正確な「歯科技工指示書」と「補綴物管理票」を記載する方向へ向かわないといけない。また、委託先の歯科技工所においても記載漏れがあれば、歯科医師とのコミュニケーションを十分に図り、再度歯科医院からの受注を促す努力も必要である。

歯科診療所内に歯科技工士が存在する価値は、患者の要望を直接聞き、口腔内の状況や歯科医師の治療方針をより一層理解でき、歯科医師からの直接的な歯科技工指示内容が伝達され、歯科技工士は補綴物の製作者としての専門的なアドバイスや患者に対する説明、確認など行えることである。そして、補綴物製作に関わる材料や製作過程についても自ら行う場合は当然であるが、一部外部委託する場合でも専門職としての受注や確認作業が行えることである。しかし、現実的には歯科技工士を雇用しているいわゆる院内ラボは、歯科診療所の15.7%(平成20年)に過ぎず、減少傾向にある。この原因としては、歯科診療所の急激な増加に伴い歯科技工士を雇用する歯科診療所自体の経営体力の低下、疾病構造の多様化に伴って修復処置内容が変化してきたこと、さらには歯科技工士の志願者が激減してきたことがあげられる。歯科診療所に歯科技工

士が存在する価値は極めて大きく、患者に良質で、安全、安心な補綴物を提供するための「トレーサビリティの確保」の実践に有意義である。しかし、我が国の歯科技工士は独立開業権が認められていることから、就業歯科技工士約34,600名のうち、歯科技工所で勤務しているのは24,200名(69.9%)、さらに1人開業は70%であることから歯科診療所から受注される補綴物製作の流通は、さらに複雑になることが予想される。すなわち、1人開業ですべての補綴物の製作を行うには設備投資が高額になること、営業、経理、歯科技工などをすべて1人で対応しなければならないことからいわゆる「長時間労働、低賃金」を助長することになる。今、補綴物の製作方法も大きな変革期を迎え、アナログ作業からデジタル化へとシフトしつつある。たとえばCAD/CAMシステムにおいては、1人ラボでスキャニング、CAD設計まで行い、大型のCAMを保有するセンターラボに中間技工物(フレーム製作など)を孫委託するようなシステムも今後増加するであろう。このような製作過程を行う場合には「トレーサビリティ」を書面(バーコード等電子媒体を含む)において示さなければならない。

補綴物製作におけるトレーサビリティを確保することは歯科医療において、極めて重要であり、患者に対する歯科医療人としての責務でもある。単に歯科医師と歯科技工士との間に生じる確認書としての意味だけでなく、自らの口腔内に装着される患者にとってもそれを知る権利がある。したがって、トレーサビリティの確保においては、患者の承諾(書面上の)も必要であろう。現在の歯科診療において

歯科技工士の存在は患者に見えない位置づけにあるが、『顔の見える歯科技工士』の存在は、「トレーサビリティ確保」においても心理的に大きな効果があると考えられる。

8) 歯科補綴物製作の外部委託に関する患者への情報提供について

患者への情報提供は3割を越えており、患者に提示している内容の主なものとしては、「補綴物維持管理」が31件、「装着物の取り扱い・保障等」が13件であった。これらは当該歯科医院の姿勢、メーカー（歯科技工所）の意欲が感じられるものであった。しかしながら、具体例の書類も提出は1例のみであった。また、これも「補綴物管理票（仮称）」の必要項目との整合はほとんどないと思われ、患者への情報提供方法について更なる精査が必要であり、さらに指針の見直し、再作成等なども考慮する必要がある。

9) 歯科技工所から補綴物等が納品される時に作業工程、材料の組成やロット番号等の情報提供を受けている内容あるいは情報提供を指示している内容について

情報提供の詳細については「ジルコニアフレームのロット番号」が22件、「作業責任者／担当者名」が15件であり、情報提供を意欲的に行っている技工所も見受けられた。今後、ジルコニア等CAD/CAM装置を用いた補綴物も増えていくことから、望ましい傾向と思われた。

10) 歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合の「事前承認」の有無とその方法について

歯科技工所が海外へ委託（外注）する場合、貴院に対しての「事前承認」について8割が事前承認を得ている。また、「60歳代」の90.6%から「30歳代」の70.0%となっており、各年代とも比較的承諾率が高い。さらに、事前承認について8割が事前承認をおおむね紙媒体でとっていることで評価できよう。しかしながら、具体例の提示は1例で、再委託した海外の技工所住所等は技工指示書に明示されておらず、再委託に関する23年度指針に適合したものとは言いがたい。

11) 海外での歯科補綴物製作の作業行程、使用材料に関しての理解度について

8割以上の対象者が理解しており、作業工程、材料について認知度は高い回答率となっている。しかしながら、具体的帳票のサンプル提出は見当たらず、「補綴物管理票」（仮称）の使用率は1割程度にとどまっていることから、概念的理解と実際の実施状況については今後、具体的な方法について更なる検証する必要があると思われた。

12) 海外で製作された歯科補綴物に関する患者への説明の有無、保証の有無、保証期間について

海外で製作された歯科補綴物について、患者に対して「説明している」は3割弱と少ない結果であった。また、「説明していない」が4割弱とあるのは現在食品の輸入に関連する情報の提供などが話題になる中、十分な患者への海外で製作された歯科補綴物についての情報提供は不足しているのではないかと考察できる。

一方、歯科補綴物について「保証している」と答えたのは8割強であった。1日あたり「30人以上」の来院患者数がある診療所では「保証」が9割程度に上っていく傾向があり、規模が大きな診療所ほど保証が担保されているものと推察された。さらに保証期間については3年以上が多く占め、ある程度の評価ができる。

13) 補綴物管理票やトレーサビリティの内容や施行に関しての主な意見について

トレーサビリティそのものが認知されていないという意見が4件、事務処理の手間が増えるのが困るとの意見が2件、さらに海外委託状況を詳しく知りたいという意見2件あるなど、まだまだトレーサビリティに関する理解不足、周知の徹底不足の懸念が示唆された。

14) 歯科技工教育について

補綴物を製作する歯科技工士の教育において、補綴物の製作委託（外部委託）に関わる教育は現在も行われている。歯科技工士教育は指定規則によって現在2,200時間以上であることが定められているが、とりわけ「歯科技工学概論」（50時間）、「関係法規」（15時間）において教授され、特に「関係法規」は国家試験の対象学科目である。「歯科技工学概論」においては、歯科技工士の役割、歯科技工士の管理と運営、また「関係法規」においては、歯科技工士法、歯科技工士の業務、歯科技工所の管理などで補綴物の製作委託について教授されている。歯科技工指示書に関する歯科技工士法第18条の項では、「国外で作成された補綴物

などの取り扱いについて」（厚生労働省医政局歯科保健課長通知，平成17年9月，医政歯発0908001）とともに記載されている。

一方、ワックスを用いた鑄造技術、硬質レジンの築盛、重合操作、陶材の築盛、焼成操作などのアナログ的技工から、コンピュータを用いた設計や加工技術などのデジタル化された歯科技工に大きく変革されようとしている。歯科技工士養成においても最近のCAD/CAMテクノロジーに関わるカリキュラムの必要性から、毎年、厚生労働省補助金事業として専任教員を対象とした講習会を開催している。CAD/CAMテクノロジーに代表されるデジタル技工では、スキャニング操作やCAD設計領域などは歯科技工士の独占業務として法制化が必要である。また、スキャニング時のデータを、インターネットを通して国内のみならず海外へ送信することも可能であることから、補綴物製作におけるトレーサビリティに関わる規程の法制化も必要と考える。

現在、歯科技工士の国家試験は厚生労働大臣から各都道府県知事に委託されている実施されているが、本来の国家試験としての体をなしていないことから、近々全国統一化された試験としての実施が検討されている。検討されている全国統一国家試験の出題基準の中にも「歯科技工物の品質管理」として「トレーサビリティ」の項目が取り込まれ、今後の歯科技工士教育においても、これまで以上にウェイトをおいた教授が期待される。

E. 結論

歯科医師から受注される歯科技工

指示書は、歯科技工士にとって診療カルテと同等の価値があり、その確認作業は極めて重要であり、「トレーサビリティ確保」の出発点でもあり、歯科医師の治療方針を理解し、補綴物製作における意思の疎通を図らなければならない。また、受注された補綴物の製作が自歯科技工所での完結型か、さらに他の歯科技工所への孫委託を行うものであるかを明確にし、歯科医師に明確に伝達しなければならない。さらに、平成 23 年 6 月厚生労働省から発信された「歯科医療における補綴物等のトレーサビリティに関する指針」の中で、海外への委託用として例示された「補綴物管理票」（仮称）は歯科技工指示書とは異なり、補綴物製作過程や材料の詳細を記したもので、自歯科技工所から孫委託する歯科技工所へも伝達されるものであり、歯科医師の手元に納品され、患者に確認されるまで補綴物とともに添付される貴重な書類であることを認識しなければならない。

今回の調査において「海外での補綴物製作」に関して歯科医師側の作業工程や材料に対する認知度は決して高いとは言えず、また、患者に対する説明、承諾に関しても約半数は実施されていないのが現状である。海外技工に関わる法的検討、例えば取扱業者・歯

科技工所の基準、歯科技工材料に関わる国際規格化、輸入される補綴物に対する検査体制など今後検討されなければならない課題も多いが、「トレーサビリティの確保」においては、海外技工のみならず国内で対応される補綴物製作においても厳格に実施される必要がある。今後、保証書、技工伝票、技工指示書等、具体的なサンプルを集めて、トレーサビリティの具体的推進方法について検討する必要がある、関連学会、歯科医師会、歯科技工士会、メーカー等関係者への周知、ディスカッションが必要と結論づけることができる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

なし

III. 研究成果の刊行物・別刷

なし

資料1 アンケート集計表

問 1. 貴医院の院長先生の年齢をご記入ください

		20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上	無回答	合計
1日あたりの 来院患者数	20人以下	0	11	31	82	55	16	0	195
	21～30人	0	9	41	75	32	3	0	160
	31人以上	0	17	42	100	22	4	0	185
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	0	22	58	128	77	18	0	303
	6～10件	0	8	43	96	28	4	0	179
	11件以上	0	7	14	33	4	1	0	59
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	0	5	7	34	18	4	0	68
	51%～99%	0	16	43	91	32	9	0	191
	100%	0	16	64	128	56	10	0	274
合計		0	37	115	257	109	23	0	541
1日あたりの 来院患者数	20人以下	.0%	5.6%	15.9%	42.1%	28.2%	8.2%	.0%	100.0%
	21～30人	.0%	5.6%	25.6%	46.9%	20.0%	1.9%	.0%	100.0%
	31人以上	.0%	9.2%	22.7%	54.1%	11.9%	2.2%	.0%	100.0%
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	.0%	7.3%	19.1%	42.2%	25.4%	5.9%	.0%	100.0%
	6～10件	.0%	4.5%	24.0%	53.6%	15.6%	2.2%	.0%	100.0%
	11件以上	.0%	11.9%	23.7%	55.9%	6.8%	1.7%	.0%	100.0%
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	.0%	7.4%	10.3%	50.0%	26.5%	5.9%	.0%	100.0%
	51%～99%	.0%	8.4%	22.5%	47.6%	16.8%	4.7%	.0%	100.0%
	100%	.0%	5.8%	23.4%	46.7%	20.4%	3.6%	.0%	100.0%
合計		.0%	6.8%	21.3%	47.5%	20.1%	4.3%	.0%	100.0%

問2. 貴医院の歯科医師数（非常勤も含む）は何名ですか

		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人以上	無回答	合計
年齢	30～39歳	6	17	2	2	4	4	1	0	1	0	0	0	37
	40～49歳	60	20	11	9	6	2	3	0	0	2	1	1	115
	50～59歳	150	56	21	10	7	2	3	2	2	2	2	0	257
	60～69歳	68	28	8	3	1	0	0	0	1	0	0	0	109
	70歳以上	9	10	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	23
1日あたりの来院患者数	20人以下	139	40	9	3	2	0	1	0	0	0	0	1	195
	21～30人	98	48	7	3	0	0	3	1	0	0	0	0	160
	31人以上	55	43	29	18	16	8	4	1	4	4	3	0	185
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	192	75	14	9	6	3	3	0	0	0	0	1	303
	6～10件	90	46	22	7	6	2	3	2	1	0	0	0	179
	11件以上	11	10	9	8	6	3	2	0	3	4	3	0	59
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	28	23	6	5	2	2	0	1	1	0	0	0	68
	51%～99%	104	49	17	5	9	1	2	1	1	1	1	0	191
	100%	155	59	22	14	6	5	6	0	2	2	2	1	274
合計		293	131	45	24	18	8	8	2	4	4	3	1	541
年齢	30～39歳	16.2%	45.9%	5.4%	5.4%	10.8%	10.8%	2.7%	.0%	2.7%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	40～49歳	52.2%	17.4%	9.6%	7.8%	5.2%	1.7%	2.6%	.0%	.0%	1.7%	.9%	.9%	100.0%
	50～59歳	58.4%	21.8%	8.2%	3.9%	2.7%	.8%	1.2%	.8%	.8%	.8%	.8%	.0%	100.0%
	60～69歳	62.4%	25.7%	7.3%	2.8%	.9%	.0%	.0%	.0%	.9%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	70歳以上	39.1%	43.5%	13.0%	.0%	.0%	.0%	4.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
1日あたりの来院患者数	20人以下	71.3%	20.5%	4.6%	1.5%	1.0%	.0%	.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	.5%	100.0%
	21～30人	61.3%	30.0%	4.4%	1.9%	.0%	.0%	1.9%	.6%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	31人以上	29.7%	23.2%	15.7%	9.7%	8.6%	4.3%	2.2%	.5%	2.2%	2.2%	1.6%	.0%	100.0%
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	63.4%	24.8%	4.6%	3.0%	2.0%	1.0%	1.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	.3%	100.0%
	6～10件	50.3%	25.7%	12.3%	3.9%	3.4%	1.1%	1.7%	1.1%	.6%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	11件以上	18.6%	16.9%	15.3%	13.6%	10.2%	5.1%	3.4%	.0%	5.1%	6.8%	5.1%	.0%	100.0%
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	41.2%	33.8%	8.8%	7.4%	2.9%	2.9%	.0%	1.5%	1.5%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	51%～99%	54.5%	25.7%	8.9%	2.6%	4.7%	.5%	1.0%	.5%	.5%	.5%	.5%	.0%	100.0%
	100%	56.6%	21.5%	8.0%	5.1%	2.2%	1.8%	2.2%	.0%	.7%	.7%	.7%	.4%	100.0%
合計		54.2%	24.2%	8.3%	4.4%	3.3%	1.5%	1.5%	.4%	.7%	.7%	.6%	.2%	100.0%

問3. 開院日1日あたりの来院患者数はどのくらいですか

		10人 以下	11~15 人	16~20 人	21~25 人	26~30 人	31~35 人	36~40 人	41人 以上	無回答	合計
年齢	30~39歳	1	1	9	2	7	5	3	9	0	37
	40~49歳	5	8	18	27	14	8	9	25	1	115
	50~59歳	13	35	34	36	39	31	20	49	0	257
	60~69歳	19	21	15	20	12	6	6	10	0	109
	70歳以上	4	5	7	0	3	2	2	0	0	23
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	42	65	65	50	32	19	13	16	1	303
	6~10件	0	4	18	33	42	26	21	35	0	179
	11件以上	0	1	0	2	1	7	6	42	0	59
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	2	10	7	14	8	9	2	16	0	68
	51%~99%	17	31	24	26	38	15	15	24	1	191
	100%	21	28	50	44	29	28	23	51	0	274
合計		42	70	83	85	75	52	40	93	1	541
年齢	30~39歳	2.7%	2.7%	24.3%	5.4%	18.9%	13.5%	8.1%	24.3%	.0%	100.0%
	40~49歳	4.3%	7.0%	15.7%	23.5%	12.2%	7.0%	7.8%	21.7%	.9%	100.0%
	50~59歳	5.1%	13.6%	13.2%	14.0%	15.2%	12.1%	7.8%	19.1%	.0%	100.0%
	60~69歳	17.4%	19.3%	13.8%	18.3%	11.0%	5.5%	5.5%	9.2%	.0%	100.0%
	70歳以上	17.4%	21.7%	30.4%	.0%	13.0%	8.7%	8.7%	.0%	.0%	100.0%
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	13.9%	21.5%	21.5%	16.5%	10.6%	6.3%	4.3%	5.3%	.3%	100.0%
	6~10件	.0%	2.2%	10.1%	18.4%	23.5%	14.5%	11.7%	19.6%	.0%	100.0%
	11件以上	.0%	1.7%	.0%	3.4%	1.7%	11.9%	10.2%	71.2%	.0%	100.0%
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	2.9%	14.7%	10.3%	20.6%	11.8%	13.2%	2.9%	23.5%	.0%	100.0%
	51%~99%	8.9%	16.2%	12.6%	13.6%	19.9%	7.9%	7.9%	12.6%	.5%	100.0%
	100%	7.7%	10.2%	18.2%	16.1%	10.6%	10.2%	8.4%	18.6%	.0%	100.0%
合計		7.8%	12.9%	15.3%	15.7%	13.9%	9.6%	7.4%	17.2%	.2%	100.0%

問 4. 開院日 1 日あたりの歯科補綴物の委託（外注）件数はどのくらいですか

		5件以下	6～10件	11～15件	16～20件	21～25件	26～30件	31件以上	無回答	合計
年齢	30～39歳	22	8	4	1	0	1	0	1	37
	40～49歳	58	43	10	0	0	1	2	1	115
	50～59歳	128	96	23	2	1	0	3	4	257
	60～69歳	77	28	4	0	0	0	0	0	109
	70歳以上	18	4	1	0	0	0	0	0	23
1日あたりの 来院患者数	20人以下	172	22	1	0	0	0	0	0	195
	21～30人	82	75	2	0	0	0	0	1	160
	31人以上	48	82	39	3	1	2	5	5	185
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	59	7	1	0	1	0	0	0	68
	51%～99%	114	61	13	1	0	1	1	0	191
	100%	125	110	28	2	0	1	4	4	274
合計		303	179	42	3	1	2	5	6	541
年齢	30～39歳	59.5%	21.6%	10.8%	2.7%	.0%	2.7%	.0%	2.7%	100.0%
	40～49歳	50.4%	37.4%	8.7%	.0%	.0%	.9%	1.7%	.9%	100.0%
	50～59歳	49.8%	37.4%	8.9%	.8%	.4%	.0%	1.2%	1.6%	100.0%
	60～69歳	70.6%	25.7%	3.7%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	70歳以上	78.3%	17.4%	4.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
1日あたりの 来院患者数	20人以下	88.2%	11.3%	.5%	.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	21～30人	51.3%	46.9%	1.3%	.0%	.0%	.0%	.0%	.6%	100.0%
	31人以上	25.9%	44.3%	21.1%	1.6%	.5%	1.1%	2.7%	2.7%	100.0%
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	86.8%	10.3%	1.5%	.0%	1.5%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	51%～99%	59.7%	31.9%	6.8%	.5%	.0%	.5%	.5%	.0%	100.0%
	100%	45.6%	40.1%	10.2%	.7%	.0%	.4%	1.5%	1.5%	100.0%
合計		56.0%	33.1%	7.8%	.6%	.2%	.4%	.9%	1.1%	100.0%

問 5. 歯科補綴物製作のうち、外部委託の件数割合は、おおよそどれくらいですか

		50% 以下	51%~ 99%	100%	わから ない	無回答	合計
年齢	30~39歳	5	16	16	0	0	37
	40~49歳	7	43	64	1	0	115
	50~59歳	34	91	128	2	2	257
	60~69歳	18	32	56	3	0	109
	70歳以上	4	9	10	0	0	23
1日あたりの 来院患者数	20人以下	19	72	99	5	0	195
	21~30人	22	64	73	1	0	160
	31人以上	27	54	102	0	2	185
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	59	114	125	5	0	303
	6~10件	7	61	110	1	0	179
	11件以上	2	16	39	0	2	59
合計		68	191	274	6	2	541
年齢	30~39歳	13.5%	43.2%	43.2%	.0%	.0%	100.0%
	40~49歳	6.1%	37.4%	55.7%	.9%	.0%	100.0%
	50~59歳	13.2%	35.4%	49.8%	.8%	.8%	100.0%
	60~69歳	16.5%	29.4%	51.4%	2.8%	.0%	100.0%
	70歳以上	17.4%	39.1%	43.5%	.0%	.0%	100.0%
1日あたりの 来院患者数	20人以下	9.7%	36.9%	50.8%	2.6%	.0%	100.0%
	21~30人	13.8%	40.0%	45.6%	.6%	.0%	100.0%
	31人以上	14.6%	29.2%	55.1%	.0%	1.1%	100.0%
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	19.5%	37.6%	41.3%	1.7%	.0%	100.0%
	6~10件	3.9%	34.1%	61.5%	.6%	.0%	100.0%
	11件以上	3.4%	27.1%	66.1%	.0%	3.4%	100.0%
合計		12.6%	35.3%	50.6%	1.1%	.4%	100.0%

問6. 歯科補綴物を発注する際、どのような方法で発注・製作されていますか(複数回答)

		歯科技工所へ発注し、発注先の歯科技工所で製作	歯科技工所へ発注し、発注先から別の歯科技工所へ再委託して製作	A 歯科技工所へ発注し、海外の歯科技工所で製作	B 歯科技工所へ発注し、仲介業者を通して、海外の歯科技工所で製作	C 仲介業者へ発注し、海外の歯科技工所で製作	D 海外の歯科技工所へ発注し、海外の歯科技工所で製作	自院歯科技工室で製作	その他	合計	再掲 海外の歯科技工所で製作 A~Dの小計
年齢	30~39歳	36	8	5	1	1	0	9	0	37	7
	40~49歳	113	28	33	0	7	0	24	0	115	40
	50~59歳	252	55	65	8	12	3	65	4	257	88
	60~69歳	107	14	33	8	5	0	23	0	109	46
	70歳以上	23	4	5	0	1	0	9	0	23	6
1日あたりの来院患者数	20人以下	191	29	47	7	6	1	40	3	195	61
	21~30人	158	34	44	4	10	1	45	0	160	59
	31人以上	182	45	50	6	10	1	45	1	185	67
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	296	56	80	10	13	2	95	2	303	105
	6~10件	176	34	45	5	9	1	27	2	179	60
	11件以上	59	19	16	2	4	0	8	0	59	22
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	65	8	18	3	7	0	47	0	68	28
	51%~99%	189	43	48	6	8	1	82	3	191	63
	100%	270	56	74	8	11	2	0	1	274	95
合計		531	109	141	17	26	3	130	4	541	187
年齢	30~39歳	97.3%	21.6%	13.5%	2.7%	2.7%	.0%	24.3%	.0%	100.0%	18.9%
	40~49歳	98.3%	24.3%	28.7%	.0%	6.1%	.0%	20.9%	.0%	100.0%	34.8%
	50~59歳	98.1%	21.4%	25.3%	3.1%	4.7%	1.2%	25.3%	1.6%	100.0%	34.2%
	60~69歳	98.2%	12.8%	30.3%	7.3%	4.6%	.0%	21.1%	.0%	100.0%	42.2%
	70歳以上	100.0%	17.4%	21.7%	.0%	4.3%	.0%	39.1%	.0%	100.0%	26.1%
1日あたりの来院患者数	20人以下	97.9%	14.9%	24.1%	3.6%	3.1%	.5%	20.5%	1.5%	100.0%	31.3%
	21~30人	98.8%	21.3%	27.5%	2.5%	6.3%	.6%	28.1%	.0%	100.0%	36.9%
	31人以上	98.4%	24.3%	27.0%	3.2%	5.4%	.5%	24.3%	.5%	100.0%	36.2%
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	97.7%	18.5%	26.4%	3.3%	4.3%	.7%	31.4%	.7%	100.0%	34.7%
	6~10件	98.3%	19.0%	25.1%	2.8%	5.0%	.6%	15.1%	1.1%	100.0%	33.5%
	11件以上	100.0%	32.2%	27.1%	3.4%	6.8%	.0%	13.6%	.0%	100.0%	37.3%
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	95.6%	11.8%	26.5%	4.4%	10.3%	.0%	69.1%	.0%	100.0%	41.2%
	51%~99%	99.0%	22.5%	25.1%	3.1%	4.2%	.5%	42.9%	1.6%	100.0%	33.0%
	100%	98.5%	20.4%	27.0%	2.9%	4.0%	.7%	.0%	.4%	100.0%	34.7%
合計		98.2%	20.1%	26.1%	3.1%	4.8%	.6%	24.0%	.7%	100.0%	34.6%

問 7. 歯科技工指示書に歯科補綴物を製作する場所（歯科技工所の所在地）を明記していますか

		明記して いる	明記して いない	無回答	合計
年齢	30～39歳	36	1	0	37
	40～49歳	94	21	0	115
	50～59歳	210	45	2	257
	60～69歳	93	14	2	109
	70歳以上	20	3	0	23
1日あたりの 来院患者数	20人以下	159	35	1	195
	21～30人	134	25	1	160
	31人以上	159	24	2	185
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	253	47	3	303
	6～10件	149	29	1	179
	11件以上	51	8	0	59
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	57	10	1	68
	51%～99%	163	28	0	191
	100%	227	45	2	274
合計		453	84	4	541
年齢	30～39歳	97.3%	2.7%	.0%	100.0%
	40～49歳	81.7%	18.3%	.0%	100.0%
	50～59歳	81.7%	17.5%	.8%	100.0%
	60～69歳	85.3%	12.8%	1.8%	100.0%
	70歳以上	87.0%	13.0%	.0%	100.0%
1日あたりの 来院患者数	20人以下	81.5%	17.9%	.5%	100.0%
	21～30人	83.8%	15.6%	.6%	100.0%
	31人以上	85.9%	13.0%	1.1%	100.0%
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	83.5%	15.5%	1.0%	100.0%
	6～10件	83.2%	16.2%	.6%	100.0%
	11件以上	86.4%	13.6%	.0%	100.0%
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	83.8%	14.7%	1.5%	100.0%
	51%～99%	85.3%	14.7%	.0%	100.0%
	100%	82.8%	16.4%	.7%	100.0%
合計		83.7%	15.5%	.7%	100.0%

問 8. 厚生労働省から示されている「歯科医療における歯科補綴物等のトレーサビリティに関する指針」をご存じですか

		詳しく 知って いる	知って いる	あまり 知らない	全く 知らない	無回答	合計
年齢	30～39歳	0	6	15	14	2	37
	40～49歳	2	30	53	27	3	115
	50～59歳	5	54	116	74	8	257
	60～69歳	0	26	43	38	2	109
	70歳以上	2	6	9	5	1	23
1日あたりの 来院患者数	20人以下	4	50	74	61	6	195
	21～30人	3	33	69	50	5	160
	31人以上	2	39	92	47	5	185
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	5	80	118	93	7	303
	6～10件	3	29	89	52	6	179
	11件以上	1	13	29	13	3	59
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	1	25	21	19	2	68
	51%～99%	3	37	90	57	4	191
	100%	5	59	120	81	9	274
合計		9	122	236	158	16	541
年齢	30～39歳	.0%	16.2%	40.5%	37.8%	5.4%	100.0%
	40～49歳	1.7%	26.1%	46.1%	23.5%	2.6%	100.0%
	50～59歳	1.9%	21.0%	45.1%	28.8%	3.1%	100.0%
	60～69歳	.0%	23.9%	39.4%	34.9%	1.8%	100.0%
	70歳以上	8.7%	26.1%	39.1%	21.7%	4.3%	100.0%
1日あたりの 来院患者数	20人以下	2.1%	25.6%	37.9%	31.3%	3.1%	100.0%
	21～30人	1.9%	20.6%	43.1%	31.3%	3.1%	100.0%
	31人以上	1.1%	21.1%	49.7%	25.4%	2.7%	100.0%
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	1.7%	26.4%	38.9%	30.7%	2.3%	100.0%
	6～10件	1.7%	16.2%	49.7%	29.1%	3.4%	100.0%
	11件以上	1.7%	22.0%	49.2%	22.0%	5.1%	100.0%
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	1.5%	36.8%	30.9%	27.9%	2.9%	100.0%
	51%～99%	1.6%	19.4%	47.1%	29.8%	2.1%	100.0%
	100%	1.8%	21.5%	43.8%	29.6%	3.3%	100.0%
合計		1.7%	22.6%	43.6%	29.2%	3.0%	100.0%

問 9. 貴院が歯科補綴物製作を外部に委託する際、取り引きする歯科技工士の資格免許および歯科技工所の保健所への届け出について確認していますか

		必ず確認している	確認する時としない時がある	確認していない	無回答	合計
年齢	30～39歳	8	8	20	1	37
	40～49歳	27	16	71	1	115
	50～59歳	50	45	158	4	257
	60～69歳	18	17	74	0	109
	70歳以上	5	7	11	0	23
1日あたりの来院患者数	20人以下	33	32	128	2	195
	21～30人	34	21	103	2	160
	31人以上	40	40	103	2	185
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	57	46	197	3	303
	6～10件	37	37	103	2	179
	11件以上	14	10	34	1	59
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	20	10	36	2	68
	51%～99%	31	44	116	0	191
	100%	56	37	177	4	274
合計		108	93	334	6	541
年齢	30～39歳	21.6%	21.6%	54.1%	2.7%	100.0%
	40～49歳	23.5%	13.9%	61.7%	.9%	100.0%
	50～59歳	19.5%	17.5%	61.5%	1.6%	100.0%
	60～69歳	16.5%	15.6%	67.9%	.0%	100.0%
	70歳以上	21.7%	30.4%	47.8%	.0%	100.0%
1日あたりの来院患者数	20人以下	16.9%	16.4%	65.6%	1.0%	100.0%
	21～30人	21.3%	13.1%	64.4%	1.3%	100.0%
	31人以上	21.6%	21.6%	55.7%	1.1%	100.0%
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	18.8%	15.2%	65.0%	1.0%	100.0%
	6～10件	20.7%	20.7%	57.5%	1.1%	100.0%
	11件以上	23.7%	16.9%	57.6%	1.7%	100.0%
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	29.4%	14.7%	52.9%	2.9%	100.0%
	51%～99%	16.2%	23.0%	60.7%	.0%	100.0%
	100%	20.4%	13.5%	64.6%	1.5%	100.0%
合計		20.0%	17.2%	61.7%	1.1%	100.0%

問 10. 貴院から海外の歯科技工所へ歯科補綴物を発注する場合、「補綴物管理票」等の帳票を使用していますか

		使用している	使用していない	海外へは発注していない	無回答	合計
年齢	30～39歳	0	8	27	2	37
	40～49歳	7	30	71	7	115
	50～59歳	37	56	152	12	257
	60～69歳	16	22	64	7	109
	70歳以上	3	2	16	2	23
1日あたりの来院患者数	20人以下	21	38	129	7	195
	21～30人	21	43	86	10	160
	31人以上	21	37	114	13	185
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	32	63	195	13	303
	6～10件	23	42	100	14	179
	11件以上	8	13	35	3	59
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	9	15	39	5	68
	51%～99%	20	41	121	9	191
	100%	34	58	166	16	274
合計		63	118	330	30	541
年齢	30～39歳	.0%	21.6%	73.0%	5.4%	100.0%
	40～49歳	6.1%	26.1%	61.7%	6.1%	100.0%
	50～59歳	14.4%	21.8%	59.1%	4.7%	100.0%
	60～69歳	14.7%	20.2%	58.7%	6.4%	100.0%
	70歳以上	13.0%	8.7%	69.6%	8.7%	100.0%
1日あたりの来院患者数	20人以下	10.8%	19.5%	66.2%	3.6%	100.0%
	21～30人	13.1%	26.9%	53.8%	6.3%	100.0%
	31人以上	11.4%	20.0%	61.6%	7.0%	100.0%
1日あたりの歯科補綴物の委託件数	5件以下	10.6%	20.8%	64.4%	4.3%	100.0%
	6～10件	12.8%	23.5%	55.9%	7.8%	100.0%
	11件以上	13.6%	22.0%	59.3%	5.1%	100.0%
歯科補綴物製作のうち外部委託の件数割合	50%以下	13.2%	22.1%	57.4%	7.4%	100.0%
	51%～99%	10.5%	21.5%	63.4%	4.7%	100.0%
	100%	12.4%	21.2%	60.6%	5.8%	100.0%
合計		11.6%	21.8%	61.0%	5.5%	100.0%

問 11. 歯科補綴物製作の外部委託に関して、患者への情報提供
についてお尋ねします

① 歯科補綴物製作等に関する情報を院内掲示していますか

		提示して いる	提示して いない	無回答	合計
年齢	30～39歳	7	29	1	37
	40～49歳	23	89	3	115
	50～59歳	48	205	4	257
	60～69歳	17	92	0	109
	70歳以上	6	17	0	23
1日あたりの 来院患者数	20人以下	31	160	4	195
	21～30人	38	119	3	160
	31人以上	32	152	1	185
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	50	249	4	303
	6～10件	41	135	3	179
	11件以上	10	48	1	59
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	15	52	1	68
	51%～99%	36	153	2	191
	100%	47	222	5	274
合計		101	432	8	541
年齢	30～39歳	18.9%	78.4%	2.7%	100.0%
	40～49歳	20.0%	77.4%	2.6%	100.0%
	50～59歳	18.7%	79.8%	1.6%	100.0%
	60～69歳	15.6%	84.4%	.0%	100.0%
	70歳以上	26.1%	73.9%	.0%	100.0%
1日あたりの 来院患者数	20人以下	15.9%	82.1%	2.1%	100.0%
	21～30人	23.8%	74.4%	1.9%	100.0%
	31人以上	17.3%	82.2%	.5%	100.0%
1日あたりの 歯科補綴物の 委託件数	5件以下	16.5%	82.2%	1.3%	100.0%
	6～10件	22.9%	75.4%	1.7%	100.0%
	11件以上	16.9%	81.4%	1.7%	100.0%
歯科補綴物製作 のうち外部委託の 件数割合	50%以下	22.1%	76.5%	1.5%	100.0%
	51%～99%	18.8%	80.1%	1.0%	100.0%
	100%	17.2%	81.0%	1.8%	100.0%
合計		18.7%	79.9%	1.5%	100.0%